



大崎市誕生20周年記念

特別展

法華三郎信房と大和伝

—大崎が誇る刀匠の軌跡—

令和8年

11月7日(土)～11月29日(日)

開館時間: 9:30～17:00(入館は16:30まで)

休館日: 月曜日(祝日の場合は翌平日)

入館料: 一般・大学生 230円(180円)

小・中・高校生 110円(90円)

※()内は20名以上の団体料金です。

※松山酒ミュージアムとの共通券もあります。

※当館は「大崎ゆめっこパスポート」対象施設です。

主催: 大崎市教育委員会

展示協力: 法華 榮喜氏

◆初日【11月7日(土)】は **入場無料**

特別展の初日を彩る、周辺の同時開催イベントへもぜひ足をお運びください!

【11月7日(土)だけの特別イベント】

・松山邑まつり(会場: 松山酒ミュージアム)

※当日は「松山町駅」から会場まで送迎車が運行されます。

事前にウェブサイト等でご確認ください。

・いりひとマーケット(会場: 松山公民館駐車場)

【11月7日(土)・8日(日)開催】

・松山文化祭(会場: 松山体育館)

大崎市松山ふるさと歴史館

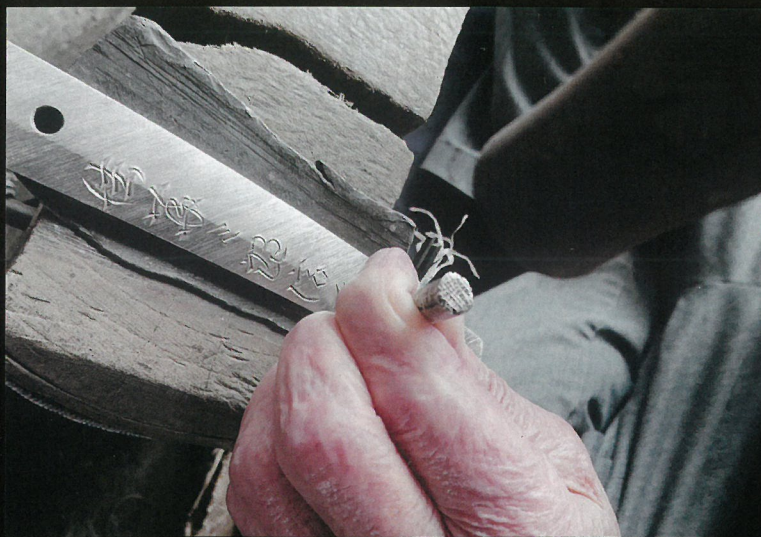
〒987-1304 宮城県大崎市松山千石字松山428番地
TEL 0229-55-2215 (代表) FAX 0229-55-4235
公式X(旧Twitter): <https://x.com/rekishikan428>



公式WEB



X (旧Twitter)



大崎市は、令和八年三月三十一日に誕生二十周年を迎えました。これを記念し、特別展「法華三郎信房と大和伝——大崎が誇る刀匠の軌跡——」を開催いたします。

江戸時代、仙台藩お抱えの刀工・初代国包が復興した大和伝保昌派を、絶え間ない研究と試行錯誤の末に現代へと蘇らせた八代目法華三郎信房。その技術を継承し、深化させた九代目法華三郎信房。

一度途絶えた技術を再現・復興し、さらなる高みを目指して鋼に向き合った二人の匠の情熱と、大崎・松山の地に息づく不屈の軌跡を、ぜひ会場でご体感ください。

八代目 法華三郎信房（本名 高橋 昇）

明治42年（1909）～平成12年（2000）

- 室蘭町（現・北海道室蘭市）生まれ。4歳の時、家族とともに先祖の故郷である松山町（現・宮城県大崎市松山）に戻る。
- 父・七代目信房の作風である備前伝を受け継ぐ。初銘・景房。第二次世界大戦中は父らとともに盛んに作刀。戦後、大和伝保昌派の作風を追求し、昭和39年（1964）の新作美術刀剣展において大和伝の作品により入賞。以後、入賞を重ねて昭和56年（1981）同展、無鑑査となる。
- 昭和41年（1966）宮城県無形文化財に指定。



九代目 法華三郎信房（本名 高橋 大喜）

昭和14年（1939）～令和6年（2024）

- 松山町（現・大崎市松山）生まれ。
- 昭和32年（1957）、父・八代目信房に正式に入門。昭和41年（1966）に文化庁より作刀承認を受ける。
- 初銘・信次。平成4年（1992）に神宮御神宝（横刀・鉾）を謹作、平成9年（1997）に隕鉄による作刀に成功。平成14年（2002）に九代信房を襲名する。
- 平成18年（2006）大崎市無形文化財に指定。



【お車でお越しの場合】

- 東北自動車道「古川IC」より約30分
- ・駐車場：周辺駐車場をご利用ください。
- ※11月7日（土）は、お祭り会場等のため松山公民館駐車場はご利用いただくことができません。

【電車でお越しの場合】

- JR東北本線「松山町駅」より
- ・路線バス：宮城交通バス（松山鹿島台線）
「酒ミュージアム前」バス停下車すぐ
※平日のみの運行となります。
- ・タクシー：約10分（日曜定休）
- ・徒歩：約40分

大崎市松山ふるさと歴史館

〒987-1304 宮城県大崎市松山千石字松山428番地
TEL 0229-55-2215（代表） FAX 0229-55-4235
公式X（旧Twitter）：<https://x.com/rekishikan428>



公式WEB



X（旧Twitter）